

2023年度 医療経営管理学科 学修成果の到達度の検証

学位授与の方針に掲げている(1)～(3)の領域に対する到達度を5段階ルーブリック評価で検証した。

2023年4月～2024年2月までにマイステップに登録されたデータを集計(比較として過去のデータも提示)

学修成果の把握に用いたルーブリック評価基準

(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力

1. 医療人として必要な知識・技能・技術の獲得・修得に取り組んでいない
2. 上記について取り組んでいるが、説明できるレベルではない
3. 医療人として必要な知識・技能・技術を限られた範囲で説明・実践できる
4. 医療人として必要な知識・技能・技術を実習等の実践活動で活かしている。
5. 上記のレベルを実務者が認め、各認定試験(国家試験)の合格水準に達している

(2) 職業人としての資質・能力

1. サービスを受ける側の視点しか持ち合わせていない
2. サービス提供者に必要な知識・技能の獲得・修得に取り組んでいる
3. サービス提供者として、指示どおりに、実体験活動に取り組んでいる
4. 実体験活動には、自分で考えたり、判断しながら取り組んでいる
5. 実体験活動を通して、他者の喜びから自らの喜びや価値を見出すことができる

(3) 生涯学習への意欲

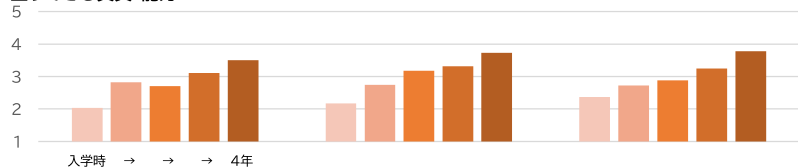
1. 身近な社会の出来事に対して、関心はあるが、その関心の幅は狭い
2. 社会の出来事や多様性に関心があるが、自分の生き方と関連付けていない
3. 社会的課題や多様性に触れるような実体験活動に取り組んでいる
4. 上記を通して、社会において自分が果たすべき課題を見出すことができる
5. 上記を通して、自らを高めるための意欲と成長の道筋を示すことができる

1 入学時および各年次ごとの到達度平均値

	回答数 (%)	(1)の平均	(2)の平均	(3)の平均
入学時	52(68.4)	2.04	2.17	2.37
1年終了時	51(67.1)	2.82	2.75	2.73
2年終了時	17(23.3)	2.71	3.18	2.88
3年終了時	28(32.6)	3.11	3.32	3.25
4年終了時	22(25.6)	3.50	3.73	3.77

評価時期: 入学時 1年終了時 2年終了時 3年終了時 4年終了時

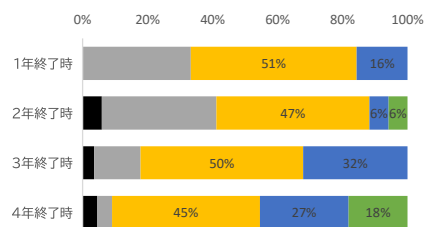
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力 (2) 職業人としての資質・能力 (3) 生涯学習への意欲



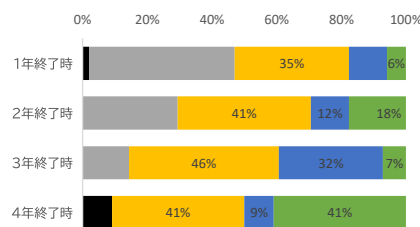
2. 各年次ごとの到達度分布

各観点の到達度: <低> 1 2 3 4 5 <高>

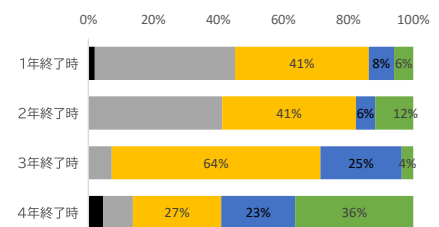
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力



(2) 職業人としての資質・能力



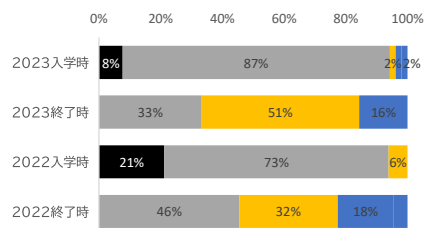
(3) 生涯学習への意欲



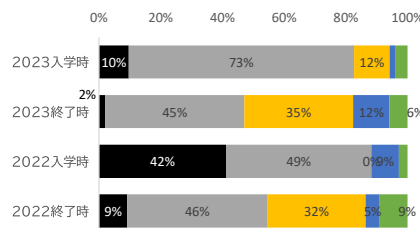
3. 1年生の成長感<前年度との比較>

各観点の到達度: <低> 1 2 3 4 5 <高>

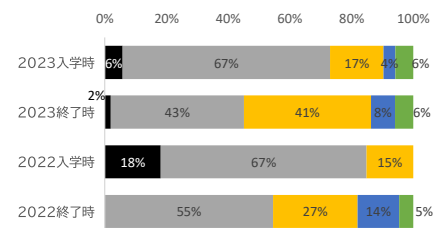
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力



(2) 職業人としての資質・能力



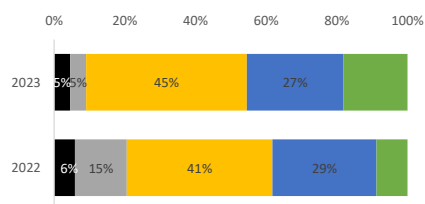
(3) 生涯学習への意欲



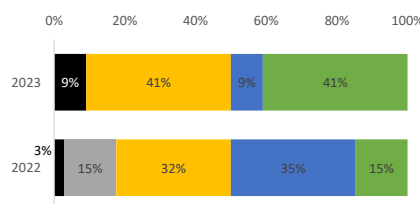
4. 4年生生終了時の成長感<前年度との比較>

各観点の到達度: <低> 1 2 3 4 5 <高>

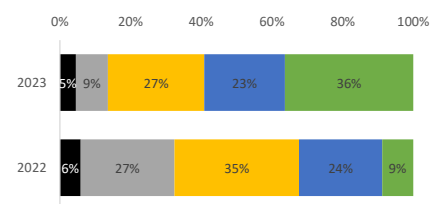
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力



(2) 職業人としての資質・能力



(3) 生涯学習への意欲



5. 4年生の入学時(2020年入学時)と4年終了時の比較

項目	入学時(2020年)	4年終了時(2023年)
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力	2.08	⇒ 3.50
(2) 職業人としての資質・能力	2.11	⇒ 3.73
(3) 生涯学習への意欲	2.26	⇒ 3.77

6. 1年次の資格取得状況

	資格・検定名称	取得者数	%
1	MOS(ワード)	36	70.6%
2	MOS(エクセル)	29	56.9%
3	防災士	14	27.5%

7. 分析結果と課題

○学年が上がるごとに全般的に各観点の到達度が高まっていた

○1年生については、前年度と比べて成長感を感じる学生の割合が増加していた。

○4年生については、前年度と比べて成長度を強く感じる学生の割合が増加していた。

○4年生では、全ての観点において入学時よりも到達度が向上していた

▲2～4学年の回答率が低調であった。

▲各学年において、成長実感を得られていない層の要因を把握し、対応を考える必要がある